

(様式 1-3)

福島県（浪江町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和元年 7 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	169	事業名	乾燥調製貯蔵施設整備事業	事業番号	(5)-43-31
交付団体	福島県	事業実施主体（直接/間接）	浪江町（間接）		
総交付対象事業費	(22,000) (千円) 44,000 (千円)	全体事業費	(6,596,823) (千円) 6,547,354 (千円)		
帰還環境整備に関する目標					
<p>浪江町では、震災前、農家戸数 1,037 戸、約 1,250ha の水田で水稻の作付が行われていた（帰還困難区域を除くと約 1,000ha）が、地震及び津波被災や原発災害による長期避難のため、農業用施設・機械の劣化とともに、営農意欲が低下し、現在の帰還農業者の割合は 5%程度となる。その中で営農を再開している農業者の数はわずか 7 世帯であり、町の農業者の多くが、避難先から通勤して農地の保全管理作業にのみ取り組んでいる状況にある。</p> <p>平成 29 年 3 月 31 日に避難指示が解除された町内 14 地区において、平成 29 年度から 30 年度にかけて、営農再開に向けた座談会と意向調査を実施した結果、130 世帯ほどの農業者に営農再開の意向がある一方、農業用施設・機械を廃棄または喪失しており、いずれの地区においても、営農再開を図る上で、農地・水利の復旧とともに、施設・機械の整備が強く望まれている。</p> <p>このため、浪江町の農業復興拠点として、乾燥調製貯蔵施設を整備することにより、個々の農業者の設備投資にかかる負担の軽減や経営面積の大規模化、収益の向上を図ることで、町民の帰還、営農再開を促進する。</p>					
事業概要					
①浪江町カントリーエレベーター及び玄米倉庫 新設工事（2基） 6,427,300,000 円（うち実施設計費：44,000,000 円）					
②施工監理（2基） 78,223,200 円					
③施設関連機械（2基） 回転式フォークリフト 2 台、ハイマスト式フォークリフト 4 台、ミニホイールローダ 2 台 41,830,800 円					
<全体事業費（①+②+③）：6,547,354,000 円>					
③処 理 量 カントリーエレベーター 4,286 t（玄米等）					
④設定場所 浪江町大字苧宿地内、浪江町大字棚塩地内					
※当該事業を位置付けている町の計画等については別添「浪江町復興計画【第二次】－抜粋－」「第二次浪江町農業再生プログラム－抜粋－」を参考のこと。					
当面の事業概要					
<令和元年度> 実施設計(25 回申請：1 基分、26 回申請：1 基分)					
<令和 2 年度> 建築工事(令和 3 年 3 月竣工予定)					
地域の帰還環境整備との関係					
乾燥調製貯蔵施設整備により、生業としての農業に取り組みやすくすることで、農業者の帰還を促し、営					

農再開（600ha 程度）を図る。

関連する事業の概要

効果促進事業：乾燥調製貯蔵施設敷地造成事業（第 24 回申請）

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
------	--

事業名	
-----	--

交付団体	
------	--

基幹事業との関連性

--

